

六郷特別出張所管内	
人口	男32,163名
	女30,266名
	計62,429名
世帯数	27,601世帯
平成10年6月1日現在	

# 六郷わがまち

発行 わがまち大田  
 六郷地区推進委員会  
 編集 「六郷わがまち」編集委員会  
 事務局 大田区六郷特別出張所  
 〒144-0055  
 大田区仲六郷2-42-2  
 電話 03(3732)4885(代)

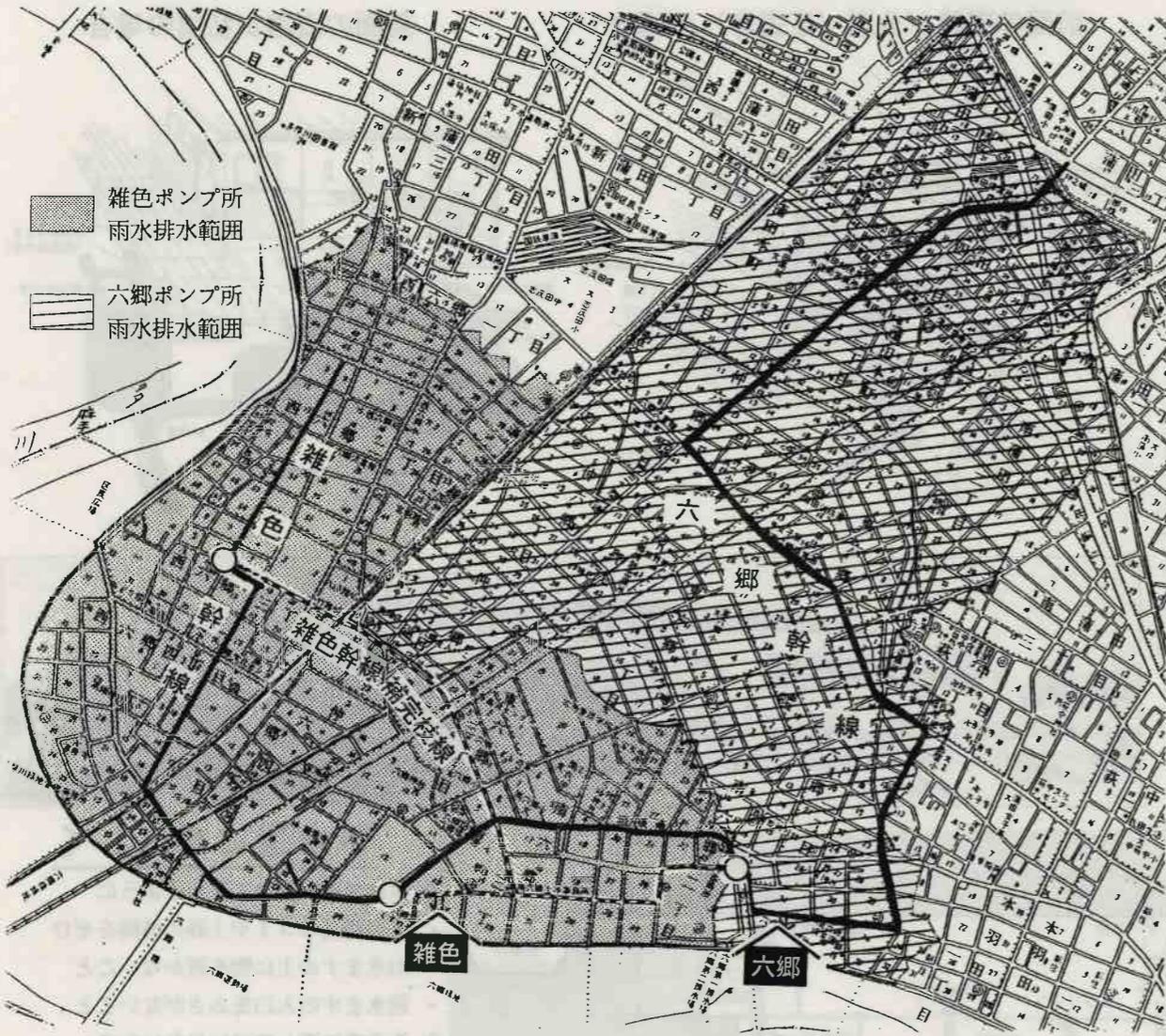


図1 六郷地区の幹線下水道とポンプ所の流域

.....ポンプ所  
 .....下水道幹線(雑色・六郷)  
 .....雑色幹線補完枝線  
 .....分水人孔

## 浸水から“まち”を守る

### 雑色ポンプ所の建設

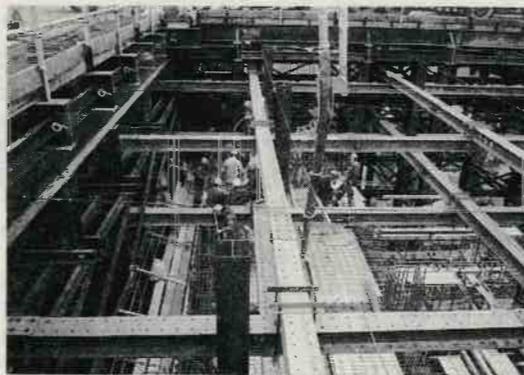
ご存知ですか。東京都下水道局が南六郷三丁目23番(トピー工業跡地)に建設している雑色ポンプ所のことです。編集委員会は、昨年12月と今年4月の2回、その工事現場を見学し、くわしい説明を聞いて、六郷わがまちの下水道に対する認識を新たにしました。

#### ☆浸水防止の施設

六郷わがまちの下水道はほぼ100%普及し、快適な生活環



雑色ポンプ所の工事現場



境となっています。しかし都市化が進んで道路が舗装され、住宅やビルや工場が密集してきたため、降った雨が地下に浸透せず、ほとんどが下水道に流れこ

んで、雨水の流出量が増大しています。現在は、南六郷一丁目にある六郷ポンプ所が、こうした雨水を汚水から分離して、多摩川に放流していますが、排水能力に不足が生じてきました。雑色ポンプ所はその不足分を補うために、平成5年5月から建設工事を始めているものです。いまでもなく台風や豪雨などのとき、雨水をすみやかに排水しなければ、道路や住宅が浸水して、思わぬ被害をこうむります。ポンプ所というのは、そうした浸水から“まち”を守る大切な施設です。

### ☆下水道の仕組み

まず六郷地区の下水道が、現在どんな仕組みになっているかをみてみましょう。

下水道には、家庭や工場などから出る汚水と雨水を同じ管に取り入れて流す合流式と、汚水と雨水を別々の管で流す分流式とがありますが、六郷地区の下水道はすべて合流式です。

図2のように家庭や工場などの汚水は、汚水ますから公道(区道など)下に埋設された下水道管に入ります。雨水も道路脇のL形側溝の雨水ますから、同じように下水道管に入ります。下水道管は直径25cmから7mに及ぶものまであります。汚水や雨水は細い管から次第に太い管へ流れ、やがて図1のような六郷幹線と雑色幹線に流れ込みます。地下深く埋設された六郷幹線は直径3~5m、雑色幹線は1.8~3m、自然流下するように傾斜をつけているので、徐々に深くなり、管も太くなって、六郷ポンプ所の入口付近では直径7mもあります。

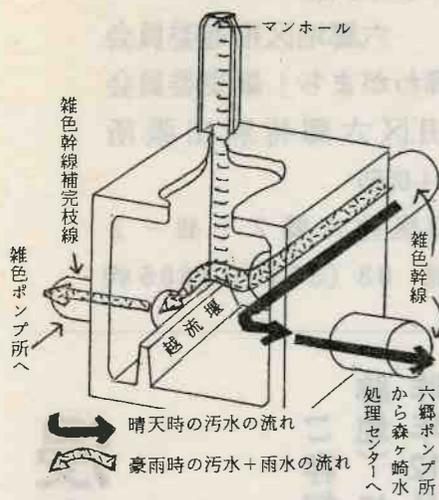
現在、六郷ポンプ所が汚水から分離した雨水を多摩川へ放流していることはすでに述べましたが、残りの汚水は「日本一」の規模といわれる森ヶ崎水処理センターへ送られます。

ここでゴミをとりのぞき、土砂を沈殿させ、生物処理をし、上澄みのきれいな水を塩素滅菌して、東京湾に放流しています。

### ☆分水人孔の役割

幹線の太い下水道管は、ふだんは大人の膝下ぐらいの高さで汚水が流れています。雨が降れば、その流入で水位が上昇し

図3 分水人孔の構造



大雨などで幹線下水道管の水位が上がると、雨水は越流堰を越えて、補完枝線へと流れ込んでいきます。

### 六郷の草たち ⑬

ヤブカンゾウの10cmほどの八重の花が、夏の河原に朱色も鮮やかに咲いています。

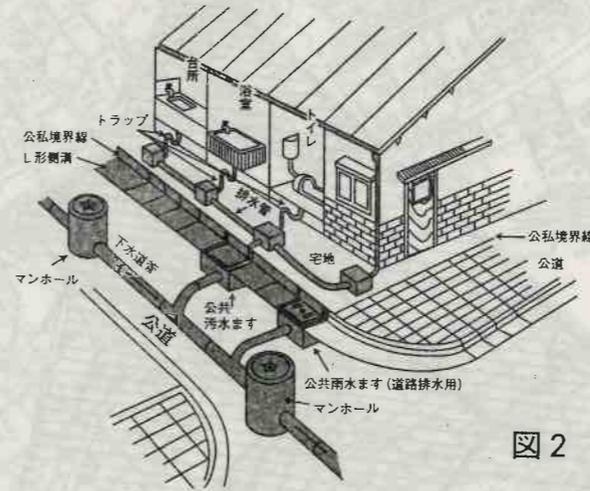


ヤブカンゾウ (ユリ科)

春先、群生している若芽を摘んで、おひたしにすると、柔らかく甘みのあるおいしい草です。

江戸時代にも食用にされた記録があり、花も食べられますが、河原の草刈りをまぬかれてせっかく咲いた花は、その場で見て楽しむものです。(古屋のり子)

前面の道路が公道(区道等)の場合



前面の道路が私道の場合

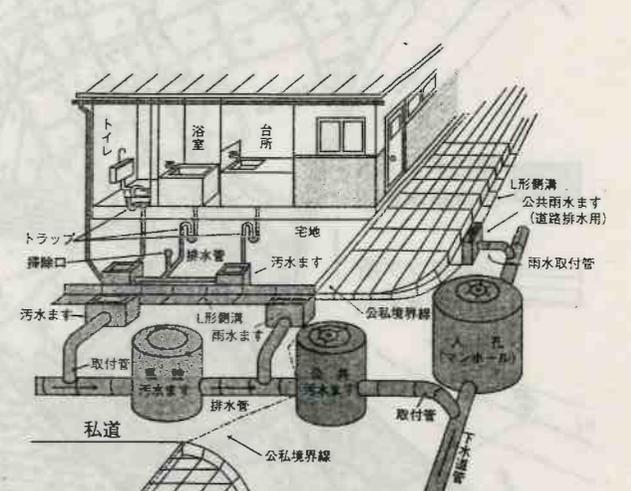
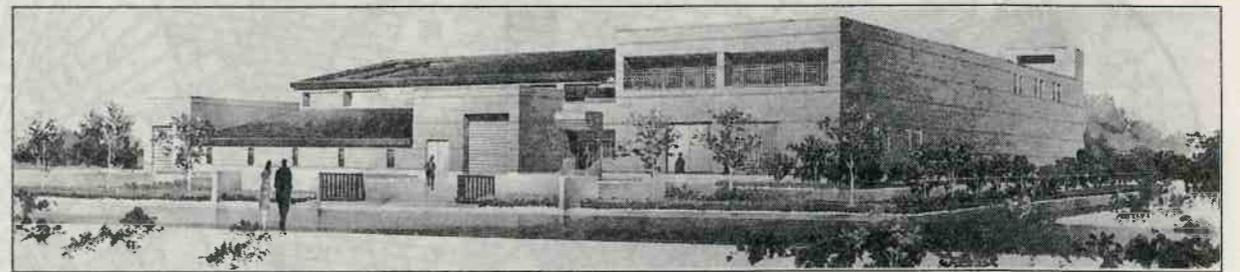


図2



1の点線部分。直径1.8m、2.6m、2.8mの下水道管)が、シールド工法と呼ばれる工法で進められることになっています。

### ☆毎秒20m<sup>3</sup>の放流

雑色ポンプ所は、敷地面積1843m<sup>2</sup>、完成すれば地上2階、地下3階の建物となります。

このポンプ所の地下3階に流入する雨水のうち、降りはじめの雨水はよごれがひどいので、これから東側につくる地下の貯留池に送り込みます。その後の雨水は、スクリーンによってピニールなどのゴミをとりのぞき、毎秒30cmの速度で土砂を沈殿させてから、5つのポンプで汲み上げ、多摩川へ放流します。図4

をご覧ください。

昭和48年に完成した六郷ポンプ所は毎秒50m<sup>3</sup>もの雨水を放流する能力を持っていますが、雑色ポンプ所が完成すると、そのうちの20m<sup>3</sup>を肩代わりし、1時間50mmの降雨時でも、六郷地区を浸水から守ることになります。

なお、雨水貯留池の上の土地利用については、地元住民の意向を十分に反映して決めたい、との説明がありました。

### 下水道にやさしく

- ◆ 道路の雨水が早く流れるように
  - ・ L形側溝のゴミや土砂の清掃をぜひ
  - ・ 雨水ますの上に物を置かないこと
  - ・ 雨水ますの入口をふさがないこと
- ◆ 下水道に流してはいけないもの
  - ・ トイレに、やわらかい紙以外のもの
  - ・ 台所の流しにご飯つぶ、野菜くず、油
  - ・ 汚水ます等にガソリンやシンナーなど

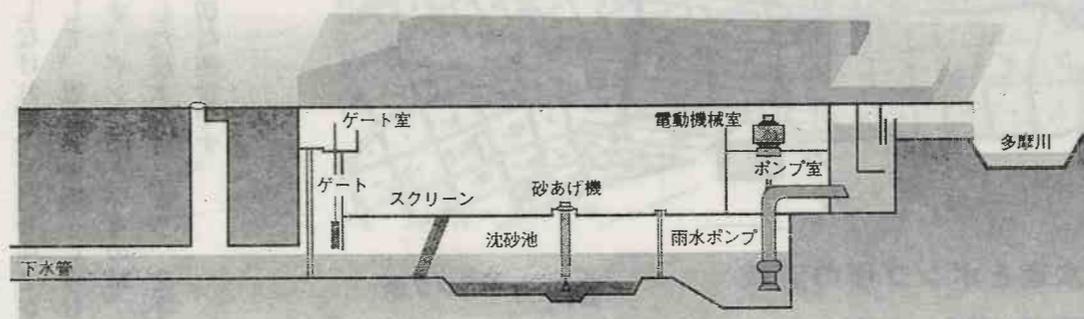


図4 雑色ポンプ所の仕組み